

# 鳥取こども学園 学園だより



第 13 号

2003年 6月 1日

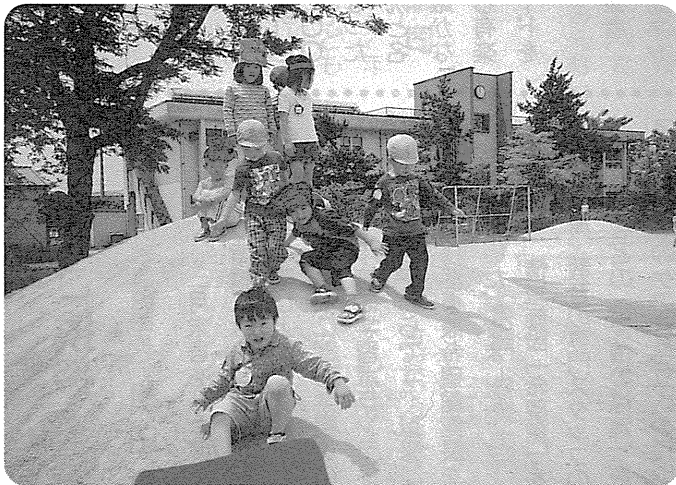
○発行

鳥取市立川町 5丁目 417番地  
鳥取こども学園後援会  
電話 (0857) 22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助



## 傷ついた人の純粹さ、 思いやりに支えられて

鳥取こども学園希望館館長 精神科医

川 口 孝 一

最近読んだ『フランクルに学ぶ』（斉藤啓一・日本教文社）という本に感銘を受けました。フランクルは、ナチス強制収容所における過酷な極限状態での体験を綴った世界的なロングセラー『夜と霧』で有名な精神科医です。彼は、その体験を通して「人

間は窮極の苦悩と絶望の中でも他者を思いやる高貴な人間性を開示し、どんな絶望からも立ち上がる生命力を発揮する。これこそが、人間の本来の姿である」と言っています。これは、私のこれまでの臨床経験からも共感できる言葉でした。思いやりこそが、人類が逆境の中でも、種を保存し生き残っていくための最大の武器なのではないでしょうか。そしてこれは、万人に生来的に与えられているもののように思います。人は生来善なるものだと思うのです。

私がこれまで病院や希望館で出会って来た人々は、自身の個性（長所）でつまづいたり、過去や環境との折り合いが付かずに苦しみ傷ついて来た人々です。そんな傷ついた人の中に、私は（残念ながら私はまだ信仰との出会いが無く、無神論者なのですが）神を見る思いをすることがよくあります。逆境におかれ傷ついたその人に私の方が癒されているのです。私は日々、訳あって親元を離れ、けなげに頑張っている子どもたちの姿に勇気付けられたり、愛し方

や世渡りの少し不器用なお母さんの懸命さや純粹さに心を洗われたりしています。

「子どもは変わった」などとよく言われますが、一対一で子どもと向き合うことの多い私にはそうは思えません。確かに社会的にも弱者である子どもは、今の時代、社会で生きて行くために防衛機制を駆使した行動をとっているため、一見理解し難く見えますが、子どもの本質は変わっていないと思うのです。最近流行った『世界に一つだけの花』を、私はいい歌だと思うのですが、子どもたちもいい歌だと言ってくれます。「感じる気持ちは変わらないな」と思うと、単純ですが嬉しくなるのです。

鳥取こども学園希望館も、この四月でやっと九歳になりました。まだまだ未熟な私たちに出来ることは、日々の子どものすったもんだに付き合い、共に悩み苦しみ喜ぶことだけかもしれません。しかし、そうした日々の関わりこそが、その子の未来を花開かせる肥やしとなると思うのです。一つ一つの出会いを大切に、目の前のその人に丁寧に関わって行けたらと思います。元々長の器でない一臨床家の私には、松田章義前館長のような大きな仕事は到底できないと思いますが、一臨床家としての私なりのスタイルで、精一杯やってみたいと思いますので、ご指導、ご支援よろしくお願致します。

## 児童虐待防止法・ 児童福祉法の 改正をもとめて

昨年十二月十三日、「子どもの虐待死を悼み、命をたたえる市民集会・パレード」が、約四、〇〇〇人の市民を結集して、東京日比谷公会堂で行なわれた。二〇〇一年に保護者の虐待によって亡くなった六十一人の子どもの虐待の状況と名前がひとりひとり読み上げられ、厳かな追悼の儀がとり行われ、日比谷から有楽町までペンライトを手に追悼パレードを行なった。

鳥取県からも、児童養護施設関係者、学生、NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取のメンバー約六十人が一部は貸切りバスで上京し参加した。

心に深く傷ついたり子どもたちの充分なケアが出来ていない、人権が守られていない現状は、一刻の猶予も許されない。

児童養護施設関係者が、子どもたちの処遇改善つを掲げて、この様な形でソーシャルアクションに参加したのは四半世紀振りのことであり、この様な形で市民運動と共同したのは初めてのことである。私たちは、昨年を引き続いて、子どもたちの代弁者として児童虐待防止法・児童福祉法の改正を求めて児童福祉制度改革の先頭に立ちたい。ご支援賜りたい。

## 退任ご挨拶

前・希望館館長 松田章義

このたび、三月末日をもって退任いたしました。皆様には、大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

さて、私の鳥取ことも学園とのかかわりは、五十年前に学習ボランティアなどの奉仕を始めてからです。以来、理事を十一年、専務理事兼希望館館長を九年、務めさせていただきました。

平成八年、情短施設「希望館」を開設後、福祉・医療・教育の専門スタッフの協働で、心理療育などの「愛情の点滴」を行い、子どもの心のケアと自立への援助、及び家族などへの支援を重ねてきました。その日々は想い出深く、共に育てられた思いです。

また、国・県などの関係の方々の協力を得て、学園の人的・物的条件の充実、子ども家庭支援センターの併設、更に全国的情短施設の拡充などにも尽力でき感謝です。

今後、学園の基本精神「愛は絶えることがない」をもとに、子ども中心の施設として益々充実していくことを願い、また、皆様のご健勝を祈ってご挨拶いたします。

### 2002年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未 満 児	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	2	7
	年 少 児	42	44	44	40	45	45	43	44	45	45	45	45	532
情短施設	入 所	30	30	29	28	26	29	30	29	28	29	27	29	344
	通 所	11	10	12	14	15	15	14	14	14	13	14	14	160
	外来相談	実人数：1,764人 延人数：3,534人												
子ども家庭支援センター希望館	実相談件数(電話163、来所232、訪問184)：579件、延相談件数(電話209、来所536、訪問185)：930件													930件
鳥取フレンド	9	10	10	10	10	11	11	13	10	10	11	11	126	
保 育 所	157	159	162	163	162	162	163	163	162	162	163	163	1,941	
子育て支援センター	利用家庭数	250	293	374	328	213	266	287	271	181	203	277	259	3,202
	一日平均	15	16	22	17	11	16	15	17	12	13	18	17	189

### 本部会計決算書

(収入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
補助金収入	27,833,000	29,884,430	2,051,430
寄付金収入	8,500,000	10,107,994	1,607,994
雑 収 入	4,287,000	4,441,010	154,010
繰入金収入	880,000	880,000	0
積立金収入	0	0	0
合 計	41,500,000	45,313,434	3,813,434

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	4,997,000	5,114,844	117,844
元利償還金	2,395,000	2,394,990	△ 10
繰入金支出	30,193,000	32,343,830	2,150,830
積立金収入	2,435,000	1,500,000	△ 935,000
固定資産取得	1,480,000	1,480,500	500
合 計	41,500,000	42,834,164	1,334,164

歳入歳出差引き残金 ￥2,479,270—は次年度へ繰り越す。(注)事務支出には退職給与金を含む。

《児童養護施設

「鳥取子ども学園」》

子ども学園は、今年度も定員いっぱい  
でスタートしています。各ホーム、幼児  
から高校生まで、約十人が三人の職員と  
生活を共にしています。朝から晩まで、  
毎日バタバタと過ごしてありますが、特に小  
学生下校後から、幼児を就寝させるまでは、  
戦争です。宿題を見たり、夕食を一緒に  
とったり、お風呂に入らせたり。一人一  
人の話も聞いてやらなくてはなりません。  
仕事は、大変なのですが、私達は、子ど  
も達の笑顔から、エネルギーをいっぱい  
もらいながら、毎日過ごしています。今  
回は、昨年度、今年度と新しく加わった  
職員のメッセージを紹介します。みんな  
はりきっています。



ふじ 保育士  
坂口 泰司

子ども学園に来て2年  
目になりました。子ども  
達とともに少しずつ成長していけるよう  
頑張ります。



ひまわり 保育士  
中尾 早希

④いて笑って叱って誉め  
て  
⑤愛いひまわりの子ども達

⑥そわるこのの多い日々  
⑦らなる信頼関係築きたい  
⑧望を胸に奮闘しています。



さくら 保育士  
細砂 美保

子ども達とともに、笑  
ったり泣いたり喜んだり、  
共に成長していきたいと思えます。宜し  
くお願いします。



なかよし園セラピスト  
川端 江美

常に余裕を持った状態  
で子ども達に接すること  
ができるよう、自らが成長していきたい  
と思っています。



東雲 保育士  
石本 景子

東雲で夕食作りに頑張  
っています！今はまだ下  
手ですが、いろいろな料理が作れる様にな  
りたいです。



フレンド セラピスト  
龍崎 博文

学園に来て2カ月、毎  
日皆に教わることはかり  
ですが、若きランナー達の良き伴走者にな  
れればと思います。

児童養護施設 施設会計決算書

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	132,222,000	132,191,984	△ 30,016
補助金収入	11,318,000	10,607,558	△ 710,442
寄付金収入	150,000	150,000	0
繰入金収入	0	148,890	148,890
雑収入	5,510,000	7,763,749	2,253,749
引当金戻入	0	0	0
合計	149,200,000	150,862,181	1,513,291

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	109,565,000	110,178,652	613,652
事業費支出	33,955,000	34,137,507	182,507
引当金繰入	5,680,000	6,500,000	820,000
合計	149,200,000	150,816,159	1,616,159

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥46,022ーは次年度へ繰り越す。



平成十四年十二月～十五年五月

〔学園関係〕

- 12月1日 鳥取いなばライオンズクラブ・餅つき大会
- 12月13日 希望館通所部門・宿泊研修 (愛の村パーク)
- 22日 学園クリスマス祝会
- 24日 クリスマスイブ・ホームパーティー
- 1月2日 OB新年すき焼き交流会
- 7日 四施設合同新年会
- 13日 学園創立記念日
- 14日 希望館通所部門・とんど焼き
- 16～20日 児童福祉展 (大丸)
- 19日 鳥取ライオンズクラブ・卓球大会
- 2月18日 高校生体験旅行③ (1名) 岡山
- 3月1～2日 高校生会スキー合宿 (氷ノ山スキー場)
- 10日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 12日 高校生会・卒業生を祝つ会 高校生体験旅行④ (1名) 東京

《情短施設「希望館」》

希望館は、今年度入所部門二十九名、通所部門十名でスタートしました。入所部門では小学校三年生から高校三年生の子どもたちが、男女別にほぼ八名ずつのユニットに別れ、四つのホーム(こばと、わかば、のぎく、しらゆり)で生活しています。それぞれのホームには保育士や指導員が寝泊まりして一緒に悩んだり、考えたりしながら子どもたちに触れあっています。通所部門は小学六年生から中学三年生が家庭から学習にカウンセリングに通って来んでいます。以下に、昨年度今年度の新入職員のメッセージを紹介します。それぞれ、志を持った頼もしい新人ばかりです。



**こばと 保育士 大前 靖孝**  
日々子ども達からたくさんのお話を学び、ともに成長できるような気がします。



**のぎく・しらゆり指導員 榎 景介**  
はじめまして、そして久しぶりです。皆さんと一緒にこれからいろいろな経験をしたいと思います。



**わかば 指導員 株本 裕成**  
自分自身の持ち味はなんだらうと思いつながら、早くそれを見つけて、これから生かしていきたいと思っています。



**こばと・わかば指導員 宮井 潤子**  
「混ぜらせていただきます」を心に刻み、いつでも微笑をと言いきかせ、子ども達と一緒に生活しています。



**しらゆり 保育士 中井 史子**  
わからないことばかりで大変ですが、子ども達と一緒に笑ったりと楽しいホームを作っていきたいです。



**支援センターセラピスト 岡田 智里**  
まだまだ未熟者の私ですが、こどもの出会いを大切にしながら明るく楽しく接していきたいらと思っています。

情短施設 施設会計決算書

(収入)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	142,951,000	142,754,701	△ 196,299
補助金収入	7,102,000	7,127,922	25,922
寄付金収入	123,000	676,873	553,873
繰入金収入	0	0	0
雑収入	2,431,000	2,953,554	522,554
人権引当金戻入	2,319,000	75,350	△ 2,243,650
修繕引当金戻入	980,000	772,485	△ 207,515
備品等購入引当繰入金	0	0	0
合計	155,906,000	154,360,885	△ 1,545,115

(支出)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	129,792,000	128,841,863	△ 950,137
事業費支出	26,114,000	25,519,022	△ 594,978
人権引当金戻入	0	0	0
修繕引当金戻入	0	0	0
備品等購入引当繰入金	0	0	0
合計	155,906,000	154,360,885	△ 1,545,115

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥0-は次年度へ繰り越す。

「みどり園関係」

- 5月1日 こいのぼり掲揚式(鳥取砂丘 子どもの国)
- 5月18日 学園子ども祭り
- 12月8日 鳥取市保育所児童文化祭
- 14日 クリスマス祝会
- 1月15日 伝承あそび(祖父母と一緒に)
- 15~17日 参観日週間
- (17日講演会・給食試食会)
- 2月14~17日 作品展
- 18日 修立小学校体験入学(年長児)
- 21日 シルエット観劇(市民会館)
- 26日 交通安全教室(保護者会主催)
- 27日 わくわく子育て支援センター「育児講座」  
講師 田中美幸氏
- 3月3日 ひなまつり
- 13日 お別れ会
- 14日 平成十五年度入所児説明会 & 身体検査
- 4月1日 進級式
- 22日 第五十二回卒園式
- 3日 第五十三回入園式
- 5日 お花見会
- 23日 春の親子遠足(子どもの国) 保護者会総会

《保育所「鳥取みどり園」》

ワクワクドキドキ  
笑顔がいっぱい

園長 入江 一枝



「おはよう！」と元氣よく登園して来る子どもたち。お日さまの下、発見や感動を探しながら、園庭を伸び伸びとかけ回る子どもたち。遊び疲れお父さんやお母さんのあたたかいぬくもりを思い出しながら、すやすやと眠りにつく子どもたち。この子どもたちの愛くるしい笑顔、あどけないしぐさ、素直な言葉の表現に私たち職員は日々の苦勞もいやされ、大きな喜びと明日へのエネルギーをもらっているように思えます。

時代の変化のすさまじさは、想像をはるかに越え、今、保育所は、大きな変革期にさしかかっています。

幼・保一元化、直接契約制、調理施設の見直し、国庫負担の見直し等々…。

そんな中で今年度（十五年度）も、地域に根をおろした、地域の子育て支援のために（いと小さいもののために）、本当の保育事業はどこにあるのか、今、私たちにできること、やるべきことは何か。

新しい器を与えられて、全職員と励まし合いつつ、ワクワク ドキドキ 笑顔がいっぱい、の楽しい保育園をめざして進もうと思えます。

今年度も特別事業として、昨年同様

○子育て支援センター事業

○乳児保育促進事業

○障害児保育促進事業

○開所時間延長促進事業（朝七時～夕

刻七時）

を実施しています。

心のこもった  
おいしい給食を…



給食担当者

谷本真奈

私は、この4月から鳥

取みどり園の調理員とな

り子ども達の給食を作り始め約1カ月半

が経ちました。

今まで、保育士や子どもに関わる仕事をしてきた中で子どもの食事が心や体の成長にとっていかに大切なものかという事がよく分かりこの仕事を希望しました。

想像していたのとは全く違い約二百人の給食を作るのは大変であり大きな責任があると感じている今日この頃です。毎日子ども達が給食室に顔を出し「先生、今日のご飯はなあに?」「今日はねえ…だよ。」と会話をしたり、給食を食へ終わると「先生おいしかったよ。」と報告してきてくれる子ども達の声を聞くと、まだ分からない事も沢山ありますがその言葉を励みにこれからも心こもったおいしい給食を作っていきたいと思っています。



保育所 施設会計決算書

(収入) (単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
運営費収入	123,293,720	126,418,572	3,124,852
補助金収入	28,778,612	26,086,441	Δ 2,692,171
寄付金収入	176,825	390,825	214,000
雑収入	1,714,200	1,841,704	127,504
利用料収入	450,000	548,950	98,950
引当金戻入	2,725,000	2,000,000	Δ 725,000
合計	157,138,357	157,286,492	148,135

(支出) (単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事務費支出	136,899,357	136,791,280	Δ 108,077
事業費支出	19,359,000	19,228,230	Δ 130,770
繰入金支出	880,000	880,000	0
引当金繰入	0	0	0
合計	157,138,357	156,899,510	Δ 238,847

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥386,982—は次年度へ繰り越す。

### 《子ども家庭支援センター「希望館」》

家庭支援センターにおける平成十四年度の相談件数は実件数五〇〇件以上、延件数九〇〇件以上となりました。相談の内容は様々です。トイレット・トレーニング、言葉の遅れといった発達に関する相談、不登校に関する相談、虐待に苦しむ母親からの相談、さらには家族関係や人間関係で悩んでいる成人からの相談もあります。相談の内容によっては、学園内の先生方や他の施設・機関に協力をお願いすることもあります。

家庭支援センターでは毎日二十四時間体制で相談を受けつけています。夜間や休日は携帯電話を利用して対応しており、夜間や休日の相談も年々増加しています。また、子育てSOS支援ネットワークで開設しているEメールから相談がくることもあります。

相談の内容や形態が多様化し複雑化するにつれて、家庭支援センターとしても様々な形で支援する必要があります。しかし、相談者の悩みを少しでも軽減するために柔軟な対応をするよう心がけていきたいと思っています。

#### 平成14年度子ども家庭支援センター「希望館」センター実績

##### ①相談方法別件数

相談方法	実件数	延件数
電 話	163	209
来 所	232	536
訪 問	184	185
そ の 他		
合 計	579	930

##### ③夜間の対応、及び一時保護件数（延べ件数）

夜間の対応			一時保護	
来所	電話	訪問	件数	延べ所要時間
5件	43件	0件	2件	288時間

##### ②相談内訳別件数（実件数）

養 護 相 談 虐待(再掲)	保健相談	障害相談	非行相談	育 成 相 談					その他の相談	合 計	いじめの相談	
				性格行動相談	不登校相談	適正相談	しつけ相談	小 計				
51	41	6	3	8	205	42	179	20	446	65	579	3

#### 子ども家庭支援センター「希望館」会計決算書

(収入)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
補助金収入	9,751,000	9,751,000	0				
(支出)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
事務費支出	9,751,000	9,751,000	0				

### 《自立援助ホーム 鳥取「フレンド」》

平成八年にこの立川町に移転し、鳥取フレンドでの生活も、この四月から、八年目を迎えています。はじめにここで生活をしてきた子どもたちも、二十代半ばになっていきます。全く音信不通の者もいるし、時々連絡をくれる子もいます。同じ時期をここで過ごした子たちは、けっこう横のつながりの強い場合もあり、とありあえず元気でいることを当人でないところからきくこともあります。皆、元気でいてほしいと思います。

実は、この春から初夏にかけて、ここを出た女の子が二人、出産予定で、時々電話で話をしたり、訪問したりしています。楽しみにもあり、「大変な時もあるけど、頑張れ！」と思う気持ちもあり、とにかく無事に出産し、母子とも健やかに過ごしてほしい...と願うばかりです。

男女に関わらず、たまにポロツと話してくれるのですが、「自分は子どもの頃につらい思いをしたから、自分が家庭をもったら子どもには絶対どういいう思いをさせない。」と言います。また「ごく普通の家庭がいい。」とも言います。ここを出てからがまず第一歩。頑張ってほしいと思います。

#### 自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計収支決算書

(収入)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
補助金収入	8,573,000	8,573,000	0				
寄付金収入	10,000	150,000	140,000				
利用者負担金収入	690,000	847,116	157,116				
雑 収 入	1,931,000	2,070,383	139,383				
引当金戻入	0	0	0				
繰越し金収入	1,400,000	1,400,000	0				
前年度繰越し	369,000	369,399	399				
合 計	12,973,000	13,409,898	436,898				

(支出)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
事務費支出	8,683,000	8,830,782	147,782				
事業費支出	3,490,000	3,248,023	△ 241,977				
引当金繰入	800,000	800,000	0				
合 計	12,973,000	12,878,805	△ 94,195				

歳入歳出差引残金 ￥531,093は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。



# 当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

2002年度(2002年4月~2003年3月)の後援会費・寄付金は、総数275件、総額で9,493,908円となりました。  
心より感謝申し上げます。

## 寄付者(2002.12~2003.5)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
愛真幼稚園 社会福祉法人 あけの星会	小竹原 寛子	鳥取県教職員組合東部支部	松田 章宏
安達 裕見子	小谷 寿子	鳥取更生保護婦人会	松谷 ポンプ(株)
井坂 靖令	小谷 怜子	鳥取白バラ乳販(株)	松原 千恵子
井上 康夫	小林 薫子	鳥取友の会	松原 菜津子
石井 衛三	小原 知子	鳥取ライオンズクラブ	松原 雅彦・好子
石田 文珠	権田 謙一・友子	戸村 誠子	松村 文雄
石戸 栄代子	斉藤 皓彦	豊島 道子	松本 康勲
石原 栄子	道祖 尾博	ど ん ど ろ け の 会	三木 康二
伊谷 伊津子	坂本 美佐男	中井 脩(株)	三島 幸子
市川 元子	酒巻 佐代子	中尾 文裕	水本 清人
猪口 絹代美枝	佐々木 政枝	中尾税経総合事務所(株)	みどり園の皆さん
岩淵 明一	3 H の 会	中川 正道	宮下 尚仁
入江 美代子・政美	シオンの会	中西 敏子	盛田 和子
植田 美代子	シダックスフードサービス鳥取店	永松 房伸	森本 五妙子
奥羽 徳幸子	清水 雅彦	中村 博子	森本 白史子
大久保 千恵子	霜村 勲	(株)ニシオ洋服店	山田 智恵子
大岡 垣七宝	食品センター 米谷 健	西村 裕子	山根 青果(株)
尾崎 倅子	修立小学校	野間 栄治	山本 静彦
海藤 ひろみ	城北小学校 P T A	(有)花のれん	山本 博幸
(有)亀井 堂枝	正林 督幸子	浜田 久美	山本 義葉
川上 広七	白井 道子	原田 幸一	四横 山仁
川口 恵子	新品治町四ツ葉	広田 幸一	横山 秀子
河川 律子	砂川 晋治・真理也	藤野 興雅	横山 川つね
久野 芳治子	芹生 琢也	藤原 雅夫	好吉 田道
蔵本 美知恵子	大源 真美	古田 操子	吉永 邊隆
呉羽 美文男	高橋 伊佐夫	前田 文子	吉渡 邊病
幸本 孝幸	田中 工業(株)	牧田 文子	渡邊 壁
古賀 久美子	束原 克美	巻田 嶋千鶴	
国際ソロプチミスト鳥取	手皮 小四郎	真嶋 雅美	
	鳥取 教 会	町田 京子	
	鳥取 鶏 卵 販 売 (株)	松岡 京子	

## 物品寄付者(2002.12~2003.5)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
秋崎 るり子	山陰中央新報	鳥取市更正保護婦人会	山田へアーサロン
石谷 暢男	修立小学校	鳥井 敦子	山本 正明
植田 洋子	大樹寺	日本鏡餅組合	吉竹 美保
浦川 明人	高田 紀子	信夫 正規	米山 幹雄
戒井 和枝	たかの(株)	浜中 紀子	わらべ館おもちゃ工房
黒川 和子	田中 温子	濱本 慈子	渡邊 清二
幸本 文男	田中 恭二	藤野 由美子	山内 省
(株)コタニ	東京三菱銀行	船井 博文	無名
光琳グループ 猪口吉野	鳥取学生赤十字奉仕団	松山 はる	
国際ソロプチミスト鳥取	鳥取県中小企業団体中央会	豆田 隆	
さわだ(シオン会)		圓山 一代	

**\*いただきました。感謝です。\***

社会福祉法人鳥取共同募金会より、第52回NHK歳末たすけあい義援金の配分として、希望館分教室に大型テレビ2台とDVDプレイヤー（30万円）をいただきました。子ども達も喜んで授業等に使っています。

**鳥取こども学園後援会 2002年度収支決算書**

(収入) 自H14.4.1 至H15.3.31 (単位 円)

科 目	金 額			摘 要
	当 年 度	前 年 度	増 減 (Δ)	
後 援 会 費	1,535,914	2,403,388	Δ 867,474	一時金含む207件 昨年352件
雑 収 入	85	1,005	Δ 920	預金利息
前 期 繰 越 金	3,454,016	4,315,463	Δ 861,447	13年度繰越
合 計	4,990,015	6,719,856	Δ 1,729,841	

(支出) (単位 円)

本部会計へ寄付	2,510,000	3,250,000	Δ 1,100,000	自立援助ホーム140万円 地域交流ホーム75万円
役 務 費	13,200	15,840	Δ 2,640	振り込み手数料
施設会計へ寄付	10,000	15,840	Δ 5,840	自立援助ホームへ
部 活 支 援	272,781	0	272,781	遠征旅費、チームジャー ジ鳥取県トレセン費用他
ホーム改装料	1,050,000	0	1,050,000	地域交流ホーム改装費
合 計	3,495,981	3,281,680	214,301	

収入支出差引残金 ￥1,494,034－は次年度へ繰越す。

**鳥取こども学園  
同窓会のご案内**

毎年、盆の8月14日と正月の1月2日の夕方6時半に学園の地域交流ホームで、同窓会を行っています。なつかしい顔に会えますので、お気軽においでください。

**「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入のお願い**

鳥取こども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」は何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

1. 「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

お陰様で、1981(S.56)年に借りた5千万円の借金の返済(毎年元金249万円×20年)が、完了しました。まだ毎年、元金188万円の返済が残っていますが、昨年の教育・治療棟の建設でも借金をせずに済ませることができました。感謝! 今後は、子どもたちへの処遇強化に努めたいと思います。更なるご支援をお願いします。

**会費・寄付金は下記へ**

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内  
☎(0857)22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎 椒子  
振 込 口 座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812  
鳥取銀行本店 普通 7645611

**お 願 い**

「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子や計理状況、ご寄付等の報告と、お礼を申し上げる意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆様の便宜を考えてのことです。ご無理のないようお願い申し上げます。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。